

地震・津波発生時の行動を再確認!

東日本大震災から6年半が経ちましたが、いつまた東北地方で大きな地震が発生するか分かりません。また、東北地方だけでなく、南海トラフ巨大地震や首都直下地震の心配もあります。もう一度地震発生時、津波注意報・警報発表時の行動について再確認しましょう。

地震が発生したら…

◆屋内の場合

- 頑丈な机の下などに隠れる
- 慌てて外に飛び出さない
- 揺れが収まってから火の始末をする
- 避難する際は電気のブレーカーを落とす

◆屋外の場合

- かばんなどで頭を保護する
- 傾いた壁や崖から離れる
- 看板や割れたガラスの落下などから身を守る
- 運転中の場合は、徐々にスピードを落とし道路の左側に停車する

津波注意報や警報が発表されたら…

- ただちに海岸から離れる
- 可能な限り高い場所へ避難する
- 津波注意報や警報が解除されるまで避難を続ける

過去の津波からここまでは来ないだろうという思い込みは禁物



11月5日(日)に
南三陸町総合防災訓練があります。
皆さん、積極的に参加しましょう!



☎ 南三陸消防署 ☎ 46-2677 / 歌津出張所 ☎ 36-2222

◆みなトレ◆

～南三陸のたからもの～



しんぎょうどうさんろく 神行堂山麓の巨石 入谷石の平

入谷山の神平から神行堂山に登る途中の杉林の中に巨石群があります。神行堂山の名は山岳修験に関わるもので、古くから信仰の場であったと伝えられ、巨石とその上方の神行堂山頂が信仰の対象でした。神行堂山からの眺めは、春には桜、秋には紅葉がみられ、その景色は京都の山々を眺めているようだと歌に詠まれたほどです。巨石の中には縦に割れているものがありますが、これは神様が村民を困らせた大蛇を落雷で退治したときに裂けたものだといわれています。かつて、この裂け目を通ることは「胎内くぐり」と呼ばれ、成人した者が社会人の仲間入りをする際の通過儀礼の一つでした。また、この裂け目を通り抜けることができるのは善人のみで、悪人が通ろうとすると岩幅が狭くなり通り抜けられないと伝えられています。

ご存知ですか?
文化財保護のこと

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご一報ください。

☎ 教育委員会生涯学習課 ☎ 46-2639